

工 事 概 要

山田町では、東日本大震災によって約 54 万トンもの膨大な量の災害廃棄物が発生しました。
 本業務では、セメント工場や廃棄物処理場などで再資源化や焼却処理ができるように、処理・処分先の受入基準に合わせて破碎・選別処理を行います。

- 業務名称 山田地区災害廃棄物破碎・選別等業務委託
- 施工場所 岩手県下閉伊郡山田町船越
- 工 期 平成 23 年 12 月 07 日～平成 25 年 3 月 31 日
- 委 託 者 岩手県
- 受 託 者 (株)奥村組・日本国土開発(株)・陸中建設(株)・吉川建設(株)・(有)佐藤建業
 特定業務共同企業体
- 業務内容

仮置場 整備工	1 式
二次仮置場 仮設工	1 式
一次仮置場 粗選別・積込	1 式
二次仮置場 混合廃棄物破碎・選別工	1 式
二次仮置場 柱材・角材破碎・選別工	1 式
運搬工	1 式
環境モニタリング	1 式
- 委託数量

柱材・角材	12,800t
可燃系混合物	41,525t
不燃系混合物	33,200t

工 程 表

平成 25 年 3 月末までの業務です。破碎・選別処理は 2 月末より開始しています。

	平成 24 年												平成 25 年			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
準備工																
一次仮置場 粗選別工																
二次仮置場 破碎選別プラント設置																
二次仮置場 混合廃棄物破碎選別工																
運搬工																
片付け																

位 置 図

災害廃棄物は、野田村内 8ヶ所の一次仮置場(下図の□)に分散して仮置きされています。



図 1. 山田町の災害廃棄物仮置場

運 営 管 理

災害廃棄物処理においては、処理処分先が廃棄物の種類ごとに異なり、運搬量も多いことから、情報通信技術(ICT)を活用した運営管理を行います。

企業体独自の「災害廃棄物統合管理システム」を開発し、管理業務の効率化を図っています。

『災害廃棄物統合管理システム』では、下記の情報をポータルサイトで一元管理しています。

- ①ダンプトラック等運搬車両の運行管理 (GPS 携帯端末)
- ②重機の作業実績管理 (車載器と連動)
- ③災害廃棄物の重量管理 (トラックスケールと連動)
- ④電子マニフェスト管理

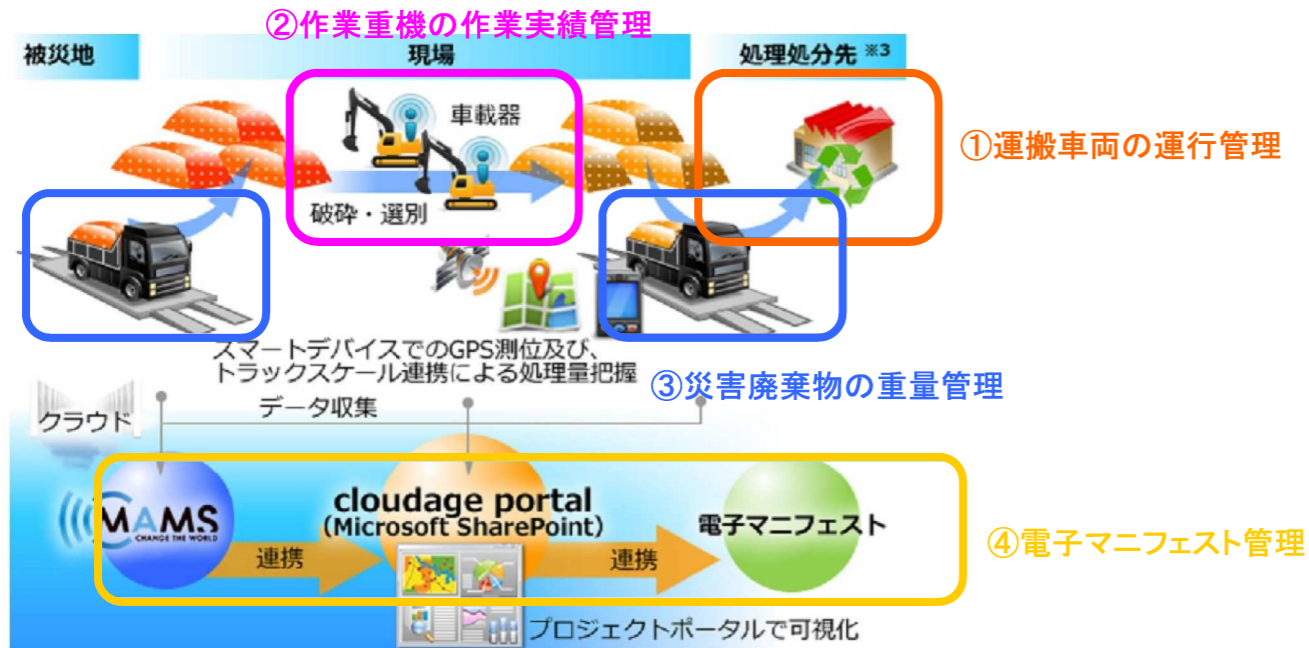


図 4. 統合管理システムの概要



図 5. 統合管理システムポータルサイト

種類ごと、運搬先ごと、運搬元ごと、期間ごとの廃棄物運搬量を、一目で管理することができます。

環 境 へ の 配 慮

騒音、粉塵の防止

仮囲いと舗装、大型テントによって騒音、粉塵を防止します。

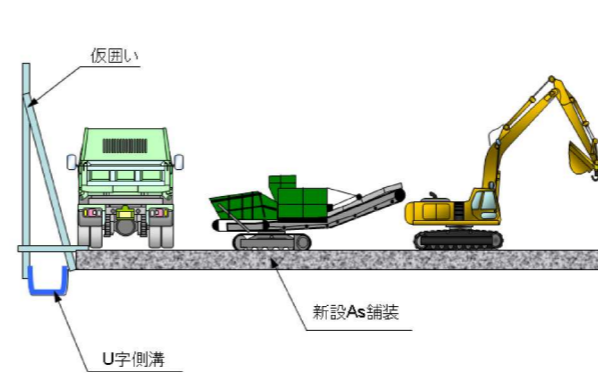


図 6. 仮置場の As 舗装と仮囲い設置



図 7. 破碎選別プラントへのテント設置

火災の防止

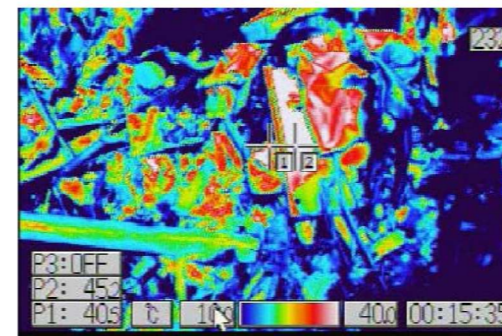


図 8. サーモグラフィーによる温度測定



図 9. ガス検知器による有害ガスの測定

環境モニタリング項目(日常管理)

測定項目	調査内容	調査頻度	備考	
日常管理項目	①粉じん	デジタル粉じん計による測定	2 回/日	一次/二次仮置場
	②臭気	ポータブル臭いセンサー等による測定	1 回/日	一次/二次仮置場
	③騒音	デジタル騒音計による測定	1 回/日	一次/二次仮置場
	④硫化水素	ガス検知器による測定	1 回/日	一次/二次仮置場
	⑤一酸化炭素	ガス検知器による測定	1 回/日	一次/二次仮置場
	⑥放射線量	放射線量計による測定	1 回/日	一次/二次仮置場
公定法分析項目	大気質	アスベスト 「アスベストモニタリングマニュアル」 「東日本大震災におけるアスベスト大気濃度調査」等に基づく方法	4 回/年	—